

2024年3月26日  
九電みらいエナジー株式会社

## 鹿児島県薩摩川内市の複合施設に PPA モデルでの太陽光発電システムを導入します — 当社として 19 件目となる太陽光オンサイト発電事業 —

当社は、九州電力株式会社と PPA 契約（電力売買契約）<sup>※1</sup>を締結し、同社が建設した薩摩川内市の複合施設「センノオト」（本年4月29日開業予定）に太陽光発電システムを導入。同年4月1日から発電した電力を供給することになりましたのでお知らせします。

これにより、センノオトの ZEB 認証取得に貢献。また、発電設備に加え、当社が設置から保守管理まで一貫して提供する蓄電システム、V2X システム（EV 充放電システム）により、BCP（事業継続計画）機能<sup>※2</sup>を備えた画期的な太陽光発電システムになります。

当社は、前身会社であるキューデン・エコソル時代から工場や商業施設の屋根等に太陽光発電設備を設置・運用する太陽光オンサイト発電事業を手掛けており、今回で 19 件目（約 10,900kW）となります。

今後も、2050 年よりできるだけ早期のカーボンマイナスの実現を目指し、再生可能エネルギーの主力電力化に向けて、地域のご理解を得ながら、着実に歩みを進めてまいります。

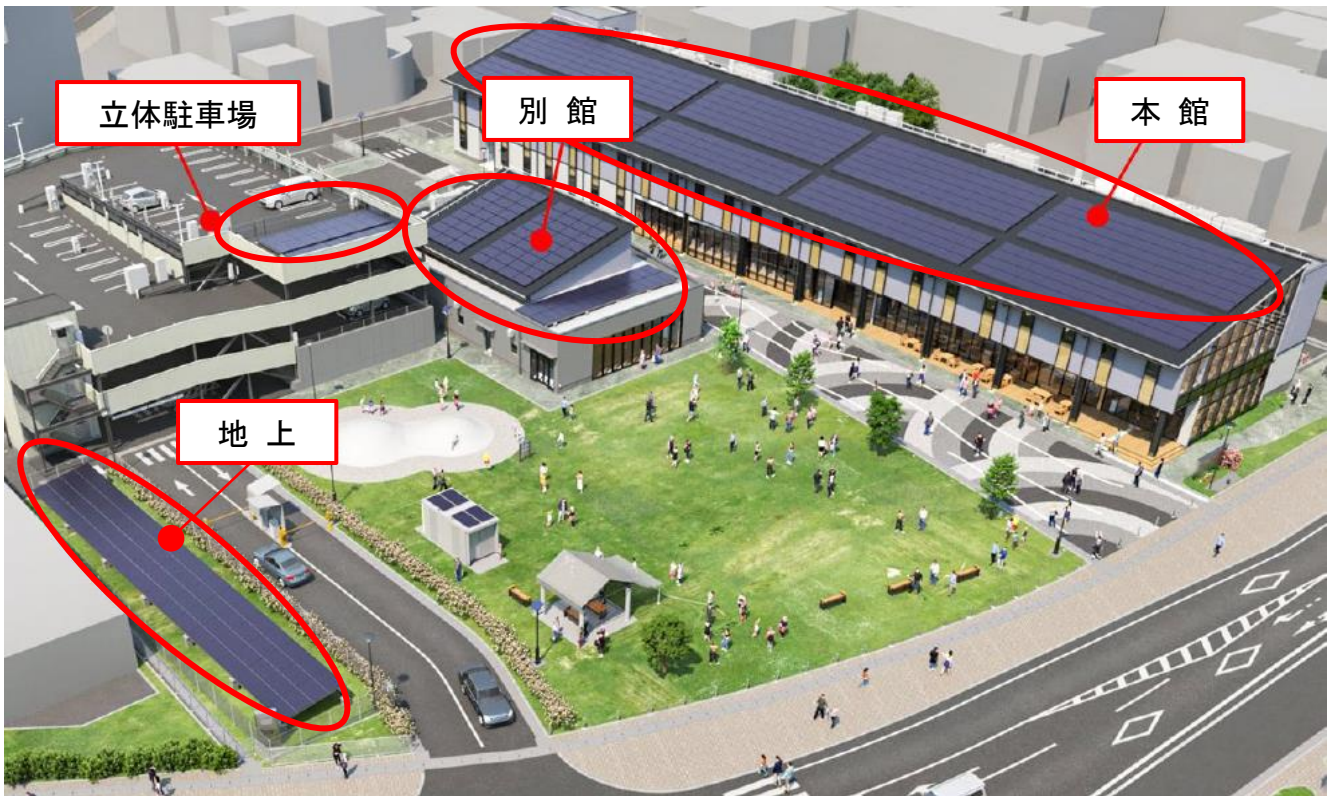
### <PPA 事業概要>

設置場所	九州電力薩摩川内複合施設「センノオト」
太陽光発電設備	出力：250kW（AC）
蓄電システム	蓄電池容量：172kWh
V2X システム （EV 充放電システム）	蓄電池容量：14kWh、EV 充放電器：4 台
年間想定発電量	約 22 万 kWh/年（全量自家消費）
年間 CO2 削減量	約 100t-CO2/年 <sup>※3</sup>
運用開始	2024 年 4 月 1 日

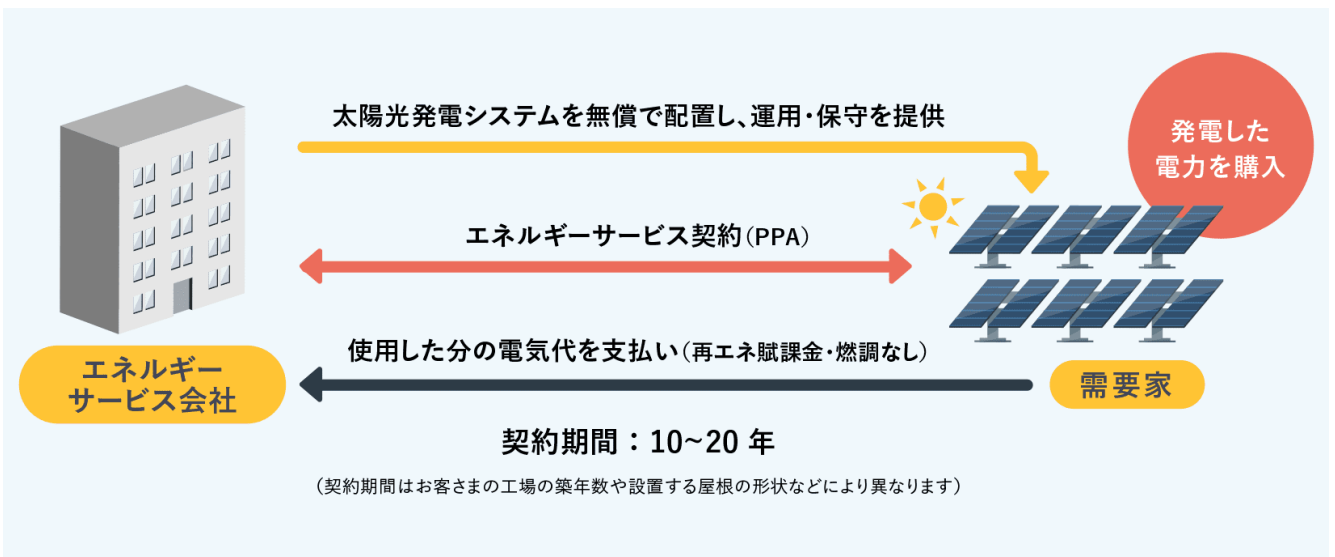
- ※1 PPA 契約とは、第三者が電力需要家の敷地に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給する契約形態（次ページ参考 1 参照）
- ※2 落雷や災害などの非常時に停電が発生した際でも、蓄電システムと V2X システムから供給される電力で施設運営の継続が可能となる機能
- ※3 九州電力㈱の CO2 排出係数「0.462kg-CO2/kWh」（2022 年度）で算出

<太陽光パネル設置エリア（センノオトのイメージ図）>

※本館、別館、立体駐車場、地上（赤枠部）に太陽光パネルを設置



<参考1：PPAモデルとは>



出典：環境省 WEB サイト「再エネ スタート」

<参考2：九州電力プレスリリース>

・2024年2月20日 [「センノオト」が2024年4月29日（月・祝）に開業します](#)

〔お問い合わせ先〕

九電みらいエナジー株式会社  
経営企画部門 経営企画部（広報） 真崎  
TEL:092-981-0970

九電グループ  
ずっと先まで、明るくしたい。